

金竜だより

令和4年 5月 31日

台東区立金竜小学校

TEL 3 8 7 1 - 9 8 9 3

ホームページ

<https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1310230>



「あいさつ」をするのはどうして？

校長 伊東 悌夫

早いもので、間もなく6月を迎えるという時期になりました。4月に入学した1年生も、金竜小学校での生活に慣れ「元気」な姿を見せてくれています。いろいろな場面で1年生の「元気」な様子を見ることができそうですが、私が最も素晴らしいと感じているのは、子供たちが登校してくる時の「元気」なあいさつです。このあいさつの声を聞くと、私も朝から「元気」をもらったような気がして、ウキウキした気持ちでその日のスタートを切ることができます。このようにあいさつには、人も気持ちを変えてしまうくらいのパワーがありそうですが、そもそもあいさつをするのはどうしてなのでしょう？

あいさつの言葉自体には、実はあまり深い意味はありません。例えば、「おはようございます」は、「今日も早いですね」という意味です。「こんにちは」は「今日は良いお天気ですね」くらいの意味しかないといわれています。では、なぜこのようにあまり意味のない言葉を毎日繰り返しているのでしょうか。

あいさつ（挨拶）の「挨」の文字には、相手の心を開くという意味があるそうです。あいさつをするということは、自分の心を開くことで相手の心も開いてもらうようにする、相手のことをもっと理解しようとする…ということなのかもしれません。分かりやすく言うと、『あなたのことを認めています。これから仲良くしていきましょう。』という気持ちを短い言葉で表現するのがあいさつなのだと思います。

このことから考えると、知っている人に会ってもあいさつをしないということは、『私はあなたのことを認めていません。仲よくしようとも思っていない。』という意味になってしまいます。このようにされた相手は『とても失礼な人だ。そんな人のためには何もしてあげたくない。』と感じてしまうでしょう。

いま、「あいさつなんかなくても関係ないよ。」と考えてあいさつをしない人は、自分が相手からどのように思われているか想像ができない人、自分にとって大切なことにまだ気づいていない人…なのかもしれません。見方を変えると、とてもかわいそうなことのようにも思えます。

毎朝、子供たちが登校してくる時には、地域の皆さんや保護者の方々、浅草警察署の方など多くの方が子供たちの安全を見守ってくださっています。金竜小学校の周りには『いつもありがとうございます。今日もよろしくお願ひします。』の気持ちを込めた元気な「おはようございます」の音が、これからもたくさん響いてほしいと願っています。

2年生の様子

2年担任

5月13日（金）に1年生と一緒に「学校たんけん」を行いました。昨年、自分たちが1年生の時に、2年生に校内を案内してもらったことをよく覚えていて、今年は自分たちが案内する番になり、わくわくした様子で準備をしていました。『「学校たんけん」に向けて、どんな準備をしたらよいか」という話し合いでは、プレゼントを用意したり、各教室のポスターを描いたりして、1年生と仲良くなって分かりやすく学校を案内したい！という思いがあふれていました。

プレゼント作りでは、折り紙で1年生が喜んでくれそうなメダルや紙飛行機を作ったり、手紙を書いたりするグループがありました。ポスター作りでは、それぞれの教室の様子を思い浮かべて、学習している様子がよく分かる絵を描き上げました。自分で選んだ教室の説明文を用意して、友達と練習し合う姿も見られました。

当日は、各教室に用意されていたシールを地図に貼りながら校内を回りました。シールを貼る場所を優しく教えてあげたり、1年生が迷子にならないよう声をかけながら回ったりしていました。この日のために準備してきたことで、1年生に喜んでもらえて満足そうに感想を話してくれました。先輩として1年生に態度で手本を示して行ってほしいと思います。

